

介護現場で求められる 「ロボット機能」とは

現在、介護現場において「ロボット機能を組み込んだ福祉用具」には、さらなる「利用者の自立支援」及び「介護する側の身体の負担軽減」などが期待されています。

平成30年度のJASPAセミナーでは、経済産業省、厚生労働省及びロボット介護機器を有効活用している介護施設の方などをお招きして、ロボット機能を組み込んだ福祉用具の開発、利用の現状、「介護現場で求められるロボット機能とは」をテーマとした講演をすすめていきます。

プログラム

13:10~13:20	開会の挨拶・進行説明
第1部「経済産業省、厚生労働省の動向」	
13:20~14:00	「経済産業省のロボット介護機器に関する政策と動向」 講師:栗原優子氏 (経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室課長補佐)
14:00~14:40	「厚生労働省のロボット介護機器に関する政策と動向」 講師:田口勲氏 (厚生労働省老健局高齢者支援課介護ロボット開発・普及推進室課長補佐)
第2部「現場で求められるロボット機能とは」	
14:50~15:40	「介護現場で求められるロボット機能とは 現場からの提言」 講師:森川悦明氏 (オリックス・リビング株式会社 代表取締役)
15:40~16:30	「2020年に向けた高アクセシビリティ ロボティックモビリティの実証」 講師:パナソニック株式会社 東京オリンピック・パラリンピック統括部 パラリンピック統括部 部長 内田賀文氏 課長 黒川崇弘氏

平成30年12月11日(火) 13:10~16:30
(開場12:40)

会場

真福寺5階 (裏面地図を参照ください) 東京都港区愛宕1-3-8

参加料

JASPA会員1,000円 (非会員3,000円)

※当日の受付にてお支払いください。

定員

60名 ※定員到達次第受付終了

問合せ先

(一社)日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)

〒105-0002 東京都港区愛宕1-6-7愛宕山弁護士ビル

TEL:03-3437-2623 FAX:03-3437-2624 e-mail:jaspa07@jaspa.gr.jp

お申込みはFAXまたはe-mailでお申込みください。 受付次第、受講票を返信いたします。

(一社)日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA) 事務局宛

FAX 03-3437-2624 e-mail: jaspa07@jaspa.gr.jp

締切 平成30年11月22日(木) ※先着順 定員到達次第受付終了とさせていただきます。

*1社で複数名のお申し込みの場合、ご出席人数を調整いただくことがありますのでご了承ください。

氏名		
勤務先		
所属		
住所		
連絡先	TEL:	FAX:
メールアドレス		

- ・受講票をFAX又はe-mailで返信いたします。
- ・受講票が研修会開催日の3日前までに届かない場合はお問合せください。
- ・提供いただいた個人情報は、適正な利用、管理を行ないます。

会場までのアクセス



JR	新橋駅烏森口	徒歩15分
銀座線 三田線 日比谷線	虎ノ門駅 1番出口 御成門駅 A5出口 内幸町駅 A3出口 神谷町駅 3番出口	各徒歩8分
バス	東京駅丸ノ内南口 バスターミナル5番 「等々力」行き「愛宕山」 下車	徒歩1分

